



## 竹の子川柳会

おもしろい本をたくさん読書する  
小学校三年生

えん足だどきどきわくわく止まらない  
小学校三年生

けんさする前にどきどきしちゃうんだ  
小学校三年生

明日にはつばめのたまごかえるかな  
小学校四年生

宿題で十分読書しんけん  
小学校四年生

あと五分マンガ読みたいでもごほん  
小学校五年生

雲に乗り青空を飛ぶどこまでも  
小学校六年生

立春のどきどきとしたクラスがえ  
小学校六年生

変異株雲行き悪化管総理  
中学校二年生

明日こそリベンジするぞその希望  
高校一年生

風吹けば雲は到底かなわれない  
高校一年生

明日までの課題たくさん眠れない  
高校二年生

## ひよし川柳会

バレンタイン年をとつても嬉しいね  
水野すみこ

息の長い絆で集う趣味の会  
中城 英雄

こころよい汗一息ついた秋の風  
宇都宮 忍

仕合わせだ一家息災年を越し  
山本 雅之

息苦しい菓ごもり限度ギブアップ  
熊本 忠真

コロナ禍が息子の帰省邪魔をする  
菅原 由紀

共感呼んで不滅となるドラマ  
山本 節

山谷を越えたドラマの人生譜  
兵頭チヨカ

大家族今日もドラマを仕入れ中  
若宮 賢敬

悲劇でも喜劇でもなく生きた道  
大崎 五葉

朝ドラ見て元氣もらってさあやるぞ  
木村 貞子

コロナ禍でいつももやもや吹つきれず  
川添 忠昭

もやもやは返事の来ないプロポーズ  
渡辺 光男

政官のもやもや霞む深い霧  
米子 達雄

## 鬼北の足跡をたどる【第2回】



### 鬼北の「鬼」とは何なのか

日本各地に目を向けると、鬼北の「鬼（おに）」に通じる「日本古来の先祖の霊・山の神」としての「おに」を色濃く残している例があります。

日本では亡くなった人の魂は長い年月が経つと浄化し、祖霊として里から望むことができる神聖な山へと還り、山の神になると考えられていました。山の神は、さまざまに現れますが、代表的なものの一つが、山岳修行の開祖と祀られる役行者が従えた前鬼、後鬼という山の精霊「おに」です。

また、滋賀県葛川（かづがわ）というところでは、比叡山天台僧の夏季修行が行われますが、そこで修行の案内役を務めるのは、浄鬼と浄満という人の姿をした二匹の「おに」です。この地域では節分の豆まきは「福は内、鬼も内」と唱えるそうで、「おに」は幸福をもたらす存在として大事にされていることがわかります。

ほかにも大分県国東半島の六郷満山（ろくごうまんざん）は、「鬼が仏になった里」と言われるほど「おに」が祀られています。修正鬼会という仏教儀礼では山神の化身としての「おに」が主役となり、人々に幸福をもたらします。修正鬼会の晩には、人々と「おに」が共に踊り、長年の友のように酒を酌み交わすそうです。

このような「日本古来の祖先の霊・山の神」として伝わる「鬼（おに）」は案外各地にみられます。



▲大分県国東六郷満山  
修正鬼会という仏教儀礼で  
山神の化身として現れる鬼